

大和中央道他4路線の廃止及び石木城線 都市計画(案)説明会概要(3/8)

日時:平成24年9月1日(土) 19時30分~20時30分
場所:奈良市石木町 石木町公民館
出席者:約45名

[主な質疑内容]

1.大和中央道他4路線の見直し(都市計画道路の変更・廃止)に関すること

- 平成42年将来交通量の予測台数は、新県立奈良病院の開業および大和中央道の阪奈道路北側までの開通を想定した数値か。
→新病院が開業しており、大和中央道は、阪奈道路北側まで開通していることを前提として予測した数値としている。
- 4路線の廃止とあるが、奈良県はたいした産業もなく、観光というのが収入面からみた場合重要だと思うが、道路を寸断させた状況のままでいいのか。
→観光の事業者からは、道路が狭いということと、時間が読めないということが課題と言われている。奈良県の南北の骨格道路が京奈和であるが、京奈和でさえ整備はまだまだの状態。きちんと幹線道路を作るということで、道路事情が悪いということは、かなりの部分が解消するのではないかと考えており、国と協力し整備していきたい。観光、交流人口の確保は大事であり、重点的に取り組んでいく。
- 大和中央道の廃止区間と石木城線が重複する区間は2車線で計画が残るということだが、都市計画法第53条の建築制限および、線引きがされた状態である。それより北側(病院から北側)の区間も2車線で計画が残るのか。
→大和中央道廃止区間と石木城線が重複する区間は、大和中央道を廃止し石木城線を新たに2車線で都市計画決定することになる。(病院より)北側の区間は大和中央道を廃止するので2車線の道路は残らない。
大和中央道の廃止が決定されれば、都市計画施設の区域ではなくなるため、都市計画法第53条の建築制限はなくなる。
- 高山富雄小泉線の丸山団地内の完成している4車線道路はそのままか。枚方大和郡山線へつなぐべきだ。
→丸山団地の中の4車線道路はそのまま残る計画である。
- 都市計画道路の廃止についての反対意見は都市計画に反映されるのか。正式に意見を提出できる機会はあるか。意見は個人として提出するのか、自治会まとめて提出するのか。
→今回の意見を踏まえて県で案を作成し、この案を2週間、縦覧する。この期間中には意見書を提出して頂けるようになっている。提出して頂いた意見は、都市計画審議会に報告することになっている。個人からは個人の意見として、団体からは団体からの意見として審議会に報告する。
縦覧の期間は市民だよりによって周知する。

2石木城線の新設(新規都市計画決定)に関すること

- 県道枚方大和郡山線の平成42年の交通量は、1日あたり24,700台と聞いた。現在はどれくらいの

交通量なのか。

→県道枚方大和郡山線の石木町のあたりの交通量は、1日あたり約24,500台。平成42年の台数とほぼ同じくらいの台数である。

○石木城線は新県立奈良病院より先にできるのか。

→平成28年の病院の開業には間に合わせたいと考えている。

○石木城線の地下区間に歩道が無いのはなぜか。

→歩道をつける目的は、病院への歩いて行く人のアクセス、地域の方の安全確保のため。病院へ行かれる方は、病院の中の里道を付け替えて、地表部を歩いていただく計画である。

○石木城線の枚方大和郡山線側の進入口付近にある市道と交差部分はどうなるのか。市道ボックスカルバートの高さはどれぐらいになるか。機械等を運ぶときに軽四が通行するため、ある程度の高さが必要。

→今の田んぼの高さから5m上にアクセス道路がとおり、それをくぐるかたちでボックスカルバートを設置し、そこに道路も水路も設置するように計画している。

ボックスカルバートの高さについては、農機具等を運搬する際でも通行可能な高さを確保できると考えている。

○(都)石木城線に地下区間をつくることによって、地下水に影響があり、登弥神社の井戸が干上がるのではないかと。干上がった場合にどういった対策を考えているのか。

→水脈等について、年間を通じて継続して調査中。現段階で結論は言えない。

○(石木城線の整備により)登弥神社の周囲はどの様になるのか。

→アクセス道路については、登弥神社の周囲の石木城線は地下構造となるため、登弥神社は触らない。

3.その他

○県道枚方大和郡山線の大和郡山市の柳町工区と奈良市中町付近の2車線区間の計画を教えてください。

→柳町工区は現道が非常に狭いため、南側にバイパスを整備している。現在、用地を2割程度取得できている。平成28年度より少し前に完成となりそうである。

中町工区については、4車線で整備する予定。

○7月31日の大和郡山市での説明会では、高山富雄小泉線(大和民俗博物館～中町IC間)についてどんな意見が出てたのか。

→大和郡山市域の説明会では、都市計画道路が廃止されるのに、生活道路も満足でなく、緊急時の道路も必要といった意見が出た。

○新県立奈良病院への西側(近鉄西ノ京駅)からのアクセスについてはまだ計画段階なのか。

→西ノ京駅からは基本的にバス、公共交通を利用させていただきたいと考えており、遠方からの来訪者には、枚方大和郡山線通っていただきたいと考えている。ただ、地域の方が病院に行く際に利用することになり、現道は幅が狭く課題が多いので、地域の課題について解消できるよう対策を講じていきたいと考えている。